

## 先 入 観

(アルミ製ケーブルラックの耐食性)

- ◎ ” 思い込んだら命がけ ” というほどでないにしても、一度信じてしまうとその考えはなかなか変えられないものです。  
梅干弁当の体験者はアルミはすぐに穴のあくものと思い込み、また、アルミサッシのセールスマンはアルマイトの耐蝕性は万能だと思って売込みます。どちらも間違いなのです。
- ◎ アルミの材質と表面処理には多くの種類と段階があり、目的に応じて使いわけます。  
ネグロスのアルミケーブルラックARタイプの材質は、アルミニウムと少量のマグネシウム、珪素の合金で、強度と加工性の良さを狙い、表面処理は美観を重視した、銀白色の硫酸アルマイト法です。
- ◎ アルミにはもともと空中で酸化して酸化皮膜を作り、**さび**の進行をくい止める性質があります。これを工業的に厚い丈夫な酸化皮膜を作るのが**アルマイト加工**です。強度を出すために合金アルミを使用すると、耐蝕性は弱くなるので、この酸化皮膜の強さが耐蝕性を決定します。
- ◎ この**酸化皮膜にも苦手があります**。  
ハロゲン酸（塩酸など）と苛性アルカリ（苛性ソーダなど）に弱いので注意を要します。例えば新しいコンクリートはかなり強い苛性アルカリ性なので、アルミケーブルラック設置の際、コンクリートや**しっくい壁**に接触しないようにし、アルマイトの上に更にクリヤラッカーなどを塗装する必要があります。
- ◎ 酸にもアルカリにも強いケーブルラックとして、ネグロスは間もなく**硬質塩化ビニール製ケーブルラックPRタイプ**を発売します。  
(営業 杉浦)

製品ご決定の際は・・・**ネグロス**とご指名下さるようお願いいたします。